

此の書は、
 中一巻目から止る

升一審團外任



いふ
あつて
う

切實の雪のどろ

[illegible]

弁番目 出立書
 日大諸切符式
 校人署名
 矢間森内
 澤本要の事白出
 尾張

東京大学文学部・人文社会

[illegible]

重方第一子右常
 久間重方存
 氣の古時頼入道
 爲新居
 長年一子也
 累乃孫也
 弘日家分占

[illegible][illegible]

淨掃雞
三 該
竹本竹太夫
竹汲大化
竹本臥立夫
豐竹生為夫夫
三 該
竹汲大化
竹本臥立夫
豐竹生為夫夫
三 該
竹汲大化
竹本臥立夫
豐竹生為夫夫

之類、入大鑑系圖は公卿有以合時
 之爲の國の義我の志、前よりなき所、
 敬愛あき香受願表、
 今更に後醍醐天皇の御三降迄延平
 寺で、中興親王が朝創りせよと云ふ
 勅ありし、物日あつれば、くお見候
 無元 年 月 日 刻三留